

コロナ禍で加速されるデジタル化への対応

野村総合研究所会長兼社長 此本 臣 吾

- * コロナ禍の影響を検証する
- * 前倒して到来したオンラインの積極活用
- * テレワークの効果について
- * アフターコロナでも継続したいテレワーク
- * 急増するEコマースの新業態
- * 非常に注目を集めるPeloton社
- * B2Bの分野でも大変化が起こっている
- * デジタル化とともに向上する生活満足度
- * 21世紀はデジタル社会資本の時代
- * オンラインとリアルをともに活かす



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
本日は野村総研の此本さんにおいていただき

ました。コロナ禍ということはありますが、特にITの発展、それから最近デジタル関係の話題もいろいろ出ておりますが、経済社会が変わりつつある中で、われわれの社会、世界はどのように変化していくのかお話しただきたいと思っております。

此本さんは1960年のお生まれで、東京大工学部を出られた後、野村総研に入社され、コンサルティング関係を経て、現在会長兼社長でございます。毎年、野村総研と東洋経済とは書籍の出版等いろいろな関係がございますので、今日も此本さんの著書を買っていただきますので、聞き足りない方はぜひお買い求めいただきます

と思います。それでは此本さんよろしくお願いたします。

コロナ禍の影響を検証する

此本 今ご紹介いただきました野村総研の此本と申します。今日は1時間ほどお話を差し上げて、その後、皆さんからよろしければいろいろご質問をいただいと、そういう時間を過ごしたいと思っております。

今日は「コロナ禍で加速されるデジタル化への対応」です。お話しする内容は4点です。今回のコロナ禍の問題というのは包括的にお話しするには1時間ではできませんので、私たちから見て関心があるところにフォーカスしてお話しします。今日このアジェンダに載ってな